

## アカマツコンテナ苗木の活着状況について ～松くい虫抵抗性品種の活用～

### 1 はじめに

県では、松くい虫被害に抵抗性のあるアカマツの品種改良・生産を進めています。これは、人工交配で育成した生存率の高い品種を接種試験により選抜するものです。

この抵抗性アカマツのコンテナ苗木が平成24年度に奥州市江刺区で植栽されたので、1年経過後の活着・生育調査結果等を報告します。

### 2 アカマツコンテナ苗木の植栽

植栽したのは江刺区の森林所有者で、面積0.1ha程度に抵抗性アカマツコンテナ苗木100本が植栽されました。この方は、森林組合からの情報でこの苗木の存在を知り、スギ林の伐採跡地に試験的に植栽したということです。



【造林地の状況】

### 3 活着及び生育状況

植栽から1年経過後の7月上旬に調査を行いました。

活着状況については、植栽直後に数本の植え枯れがあったとのことでしたが、調査時におい

ては枯死した苗木は見当たりませんでした。

生育状況については、植栽後下刈を実施していないとのことから、一部の苗木については伸長生長した様子は見られませんでした。樹高50cm超まで生長しているものが多数確認されました。同一箇所での裸苗との比較試験を行っていませんので、正確なことは言えませんが、コンテナ苗木を植栽した際に施した液肥が生育を助長させたものと推定されます。



【植栽1年後の生育状況】

### 4 今後の展開

今回の調査で、抵抗性アカマツコンテナ苗木が実際に伐採跡地に植栽され、無事活着し、生育していることを確認することができました。

コンテナ苗木は植栽が容易で、根鉢があることから活着しやすく、裸苗では限定されていた植栽時期（期間）を長期間に伸ばす利点があります。

今後行われる震災被害地での森林造成に当たり、アカマツの植栽が見込まれることから、抵抗性アカマツコンテナ苗木の活用が期待されます。